

10年前の年末、地区の会合の後で、ある役員の方から「お宅は平屋で屋根が広いから、太陽光パネルをのせたらどうか。今のうちなら売電価格も高いから」と言われた。ちょうど完全に退職した年で、第二の

人生はできるだけ自給自足を目指し、畑に出て朝から夕方まで野菜作りなどに精を出し始めていたので、電気も自給自足と思

い、パネルを設置した。ただし、完全自給するには蓄電池が必要だが、

当時はかなり高額だったので断念した。

先日、電力会社から契約満了の通知が届いた。なんと売電価格が大幅に下がっており、いろいろな会社へ自由に売電していいとの案内が書いてあった。

わが家の太陽光発電が稼働し始めたのは東日本大震災のころで、電力需要が逼迫していたので、少しは社会に貢献している

かなと思っていた。しかし、今はどうだろう。日本中の電気使用量は元に戻り、大方の人は震災当時の切迫感がなくなってきたと思う。

そんな中、政府は2050(令和32)年までに炭素排出量ゼロを目指し、車を電気自動車にシフトしていくという。では、その電気はどうやって確保する

## これからのエネルギー

のだろう  
か。ますます  
す電気の需  
要が高くな

る時代にあつて、原子力発電所の再稼働が多くなるのではないか。万が一、福島第1原子力発電所のような災害が起きたらと思うと、再生可能エネルギーを増やしていかなければならないと思う。未来の若者たちに美しい地球を残すために。

(安曇野市穂高、荻原義重、76歳)

点差

こうさてん